

昭和58年

広報

1 月号

No.323

おおす

市民のうごき

昭和57年11月末現在		
人口	39,808人	(-12)
男	18,998人	(+2)
女	20,810人	(-14)
世帯数	12,235世帯	(+12)
面積	240.93平方キロメートル	

昭和58年1月1日発行 発行 大洲市役所 編集：市長公室



今年一年生になる喜多幼稚園の園児

明けましておめでとうございます

昭和58年 元旦

今月の納税

- ▶ 市 県 民 税 (第4期)
- ▶ 国民健康保険税 (第5期)

納期
1月31日

大洲市長 近田宣秋



やかに迎えられましたことをお喜び申しあげます。

さて、昭和五十八年は癸亥（みづのとい）です。今年は、この干支（えと）を考えることで年頭のごあいさついたします。

ご承知のとおり、癸亥は干支六十年の最後の年です。来年は甲子（きのえね）で、最初の年です。この癸亥という年は大変な年です。まず、癸に手偏を加えると揆になります。揆の意は二つあり、一つは揆一（きいつ・同じ道をたどり世が治まるの意）で、もう一つは一揆（いっき）です。世の中

あけましておめでとうございます。昨年も多難な一年でしたが、市民のみなさんの「福祉と安定」を求めて精一杯頑張りました。みなさんのご協力に心から感謝申し上げますとともに、新しい年をお健

新春のごあいさつ

大洲市議会議長 稲葉 冏



輝かしい新春を迎えるに当たり市議会を代表して市民の皆様につつしんで新年のごあいさつを申し上げます。

私は、昨年十月議長就任以来、先輩各位が築かれました「融和と協調」を基本理念として、これを堅持し継承すべく市政の伸展のため微力を傾注しているところでございます。お蔭をもちまして市政の諸施策も順調に進められ、着々と、その実を結びつつあります。こととは、これひとえに市民の皆様のご支援ご協力のたまものでありまして、心から感謝申し上げる次第でございます。

が安定に向うか、混乱に陥るか多事多難を含んでいます。また、亥は、一は上を表わし多は男女が交わり子を持つ姿を表わしています。この前の癸亥は大正十二年です。今の様相は、この大正十二年前後と類似しています。この年には、外国からの圧迫が厳しく、国内では不況が続く、内閣は長続きせず、しかも各地で一揆が起りました。しかし、その中にあっても、最終的には、揆を一にすることができ、次の新しい時代を創造することができました。先人達は、立派に歩んできているのです。昭和五十八年、国の内外とも多くの難関をかかえています。特に最近、その感を強くします。

それでは、どうすればよいのか、その方法はなかなか見つかりません。誰かがその方法を見い出すと言っても、また無理な話です。私は、ぎりぎりのところ、それが覚悟を決め、一灯一隅（いつの明りが一つの隅を照らす、転じて、人自らが光を発し自分の周囲を明るくするの意）を行うほかにないと考えます。傍観して、つごうのいい偶然の幸福を願ってもいけません。お互いの力を併せて、この難局を切り抜けることを誓い、また、市民みなさんにとりまして、この年が幸多き年でありますことを念じまして、年頭のごあいさついたします。

八十年代は、激動 混迷の時代、地方の時代といわれています。すなわち、経済優先より生活優先へ、無限より有限へ、一般より個性へ、中央より地方などその変革が期待されています。しかし、昨年は、ご承知のとおり内外の諸情勢は極めて厳しく、明確な方向付がないまま、混迷の中で暮れました。このような状況の中で迎えた本年は、十二支最後の「亥」の年であります。猪突（ちよとつ）猛進がその象徴ならば、慎重を期して広い視野にたつて進路を見定め、事に臨んでは、積極果敢にその実

現に向って取り組む年であると思えます。今年は、最重要課題である財政再建という命題のもとに行われる「行政改革」の年であるとともに、当市にあっては新庁舎の建設に向けて大きく動き出す飛躍の年であります。さらには、社会情勢の変化の中で、市民生活優先への施策とその対応が緊急の課題であります。私ども議会としましては、いっそう熱意をもって執行機関と一体となつて最善を尽くしたいと存じます。尚一層のご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。新年のごあいさつといたします。

市庁舎

11月14日着工

工事の安全を願う起工式

大洲市庁舎の起工式が十一月十四日、旧庁舎跡地の庁舎建設現場で近田市長、稲葉議長、米沢建設委員長ら関係者五十人が出席して行われ、工事の安全を祈願しました。

建設される市庁舎は、鉄骨鉄筋コンクリート造り地下一階、地上五階です。総面積六千二百九十五平方メートル、総工費十億四千三百万円です。昭和五十九年三月の完成をめざして工事にとりかかります。五十九年の春には、大洲市のシンボルとして完成するものと期待されています。



くわ入れをする近田市長

今年は今迄年 年男年女語る



今年こそは……

ぼくは、去年、おなががいたく一学期全部休んでしまった。通院していたが、最後には入院をした。その時はつらかった。

ぼくは陸上が好きだ。十月の市内陸上競技大会には、五年の部六十メートルに出場した。八月に退院して間もないので不安だったが、やつのことで優勝できた。長い入院生活の後だけにほんとううれしかった。

今年こそは、体に気をつけて、何事にもくじけず、勉強にスポーツに頑張つて、みんなに心配をかけるないようにしたい。



新谷・二軒茶屋 橋本賢造さん (35歳)

人の輪を広げて……

二十歳代では、気にもとめていなかった年齢に届きました。三回目の年男、三十六歳——
干支の「いのしし」のとおりで、突進のみで、わがままと知りつつ我を押し通した今までの人生。しかし、今年からは、「二歩進んで二歩退く」の心境で、老後、子供の将来、家族の健康などを考える年齢になりました。



柳沢・田勉 徳岡九利美さん (23歳)

この間、成人式を終えたばかりなのに、月日がたつのは早いもので、はや二十四歳に……二十歳を過ぎると早いというのが実感です。高校を卒業し、青年団に入り五年たちました。先輩の指導が良かったのか、よく続いたと自分でも驚いています。活動を通じて、多くの友達もでき、地域の人との交流もでき勉強になります。入って本当によかったと思います。

そろそろ年頃なので……

母をなつかしく 思います



平野・平地 谷田梅子さん (47歳)

小学五年の時、終戦を迎えましたが、戦中戦後の食糧難時代の忍んだ思い出は、脳裏を離れません。昭和三十年に結婚し、二男一女に恵まれました。四年前に義母が亡くなり、家の切り盛りを私がするようにになりました。母から学んだことをなつかしく思い返します。農産物も過剰さみで、物が豊富な時代になりましたが、未恐しい気もします。

昨年の行政で大洲郵便局に統合となり、郵便行務に情熱を燃やしています。もちろん、私一人でする仕事でなく、家族、職場の間、上司、そして利用者みなさんのご協力あつてのことです。人間の横の輪、縦の輪を広げ、幸福な家庭を土台として、市の発展のために微力ながら役立ちたいと考えています。

58年中に

四万都市大洲の誕生か

南予の玄関都市として発展が期待されている大洲市は、昭和五十八年中に四万都市になると予想されます。

大洲市の人口は、昭和三十年の四万六千八百六十六人(国勢調査)が最高で、それ以降減少の一途をたどりましたが、昭和五十年代に入り増加の傾向を見せています。大洲市住民基本台帳によりますと、昭和五十五年一月以降、毎月平均約二十五人増加しています。年別にみまると、昭和五十五年が三百六十六人、五十六年が三百六十八人、五十七年が百九十九人増加(十二月末現在)しています。

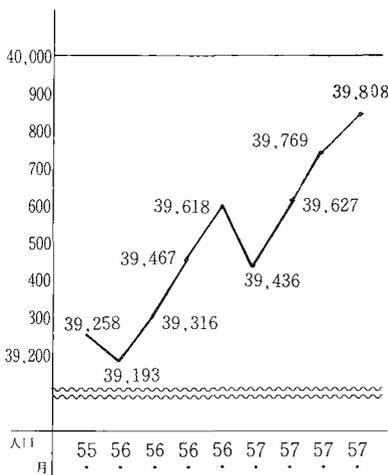
大洲市に達する年月日を予想してください。官製ハガキに予想年月日、住所、氏名、年齢を記入してお送りください。

賞品・正解者に記念品(正解者な場合は、最も近い人) 正解に近い五名に大洲市誌ならびに最新市勢要覧 送切 昭和五十八年三月末日 その他 このクイズに関するお問い合わせはご遠慮ください。また、市役所関係者の応募は、ご遠慮ください。

送り先 〒795 大洲市大洲一丁目 大洲市役所 市長公室 人口予想クイズ係

大洲市の人口推移

(住基による、3カ月ごと)



人口予想クイズ

四万都市大洲はいつ

昭和五十七年十一月末現在の人口

昭和57年度上半期

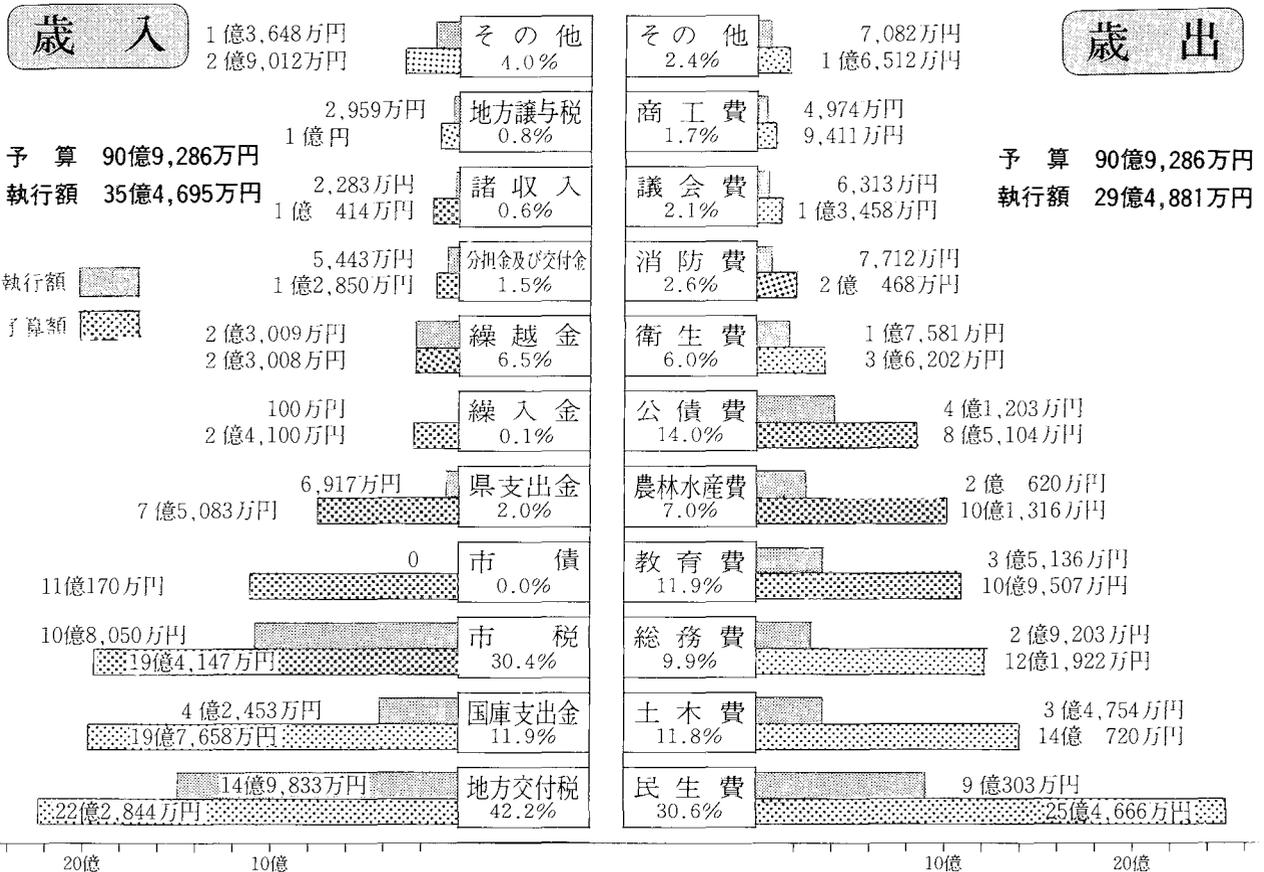
大洲市の財政

大洲市告示第69号

大洲市財政状況等に関する条例、および地方公営企業法第40条の2の規定により、昭和57年4月1日から昭和57年9月30日まで(昭和57年度上半期)の本市財政状況および業務状況を次のとおり公表します。

昭和57年11月30日

大洲市長 近田 宣秋



と畜場

予算現額 539万円
 収入済額 5万円
 支出済額 74万円
 差引 △ 69万円

簡易水道

予算現額 3,006万円
 収入済額 1,437万円
 支出済額 1,337万円
 差引 100万円

国保診療所

予算現額 2,908万円
 収入済額 1,170万円
 支出済額 794万円
 差引 376万円

国民健康保険

予算現額 19億7,266万円
 収入済額 6億5,966万円
 支出済額 6億8,950万円
 差引 △ 2,984万円

特別会計の状況

(57年度上半期)

市税と住民負担の状況(上半期)

昭和57年度上半期

固定資産税

3億7,152万円(34.4%)



1人当り 9,342円
1世帯当り 30,430円

市民税

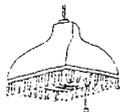
5億4,856万円(50.8%)



1人当り 13,794円
1世帯当り 44,931円

電気税

5,526万円(5.1%)



1人当り 1,390円
1世帯当り 4,526円

たばこ消費税

7,446万円(6.9%)



1人当り 1,872円
1世帯当り 6,099円

その他

軽自動車税
特別土地保有税
木材取引税

3,071万円(2.8%)

1人当り 772円
1世帯当り 2,515円

合計

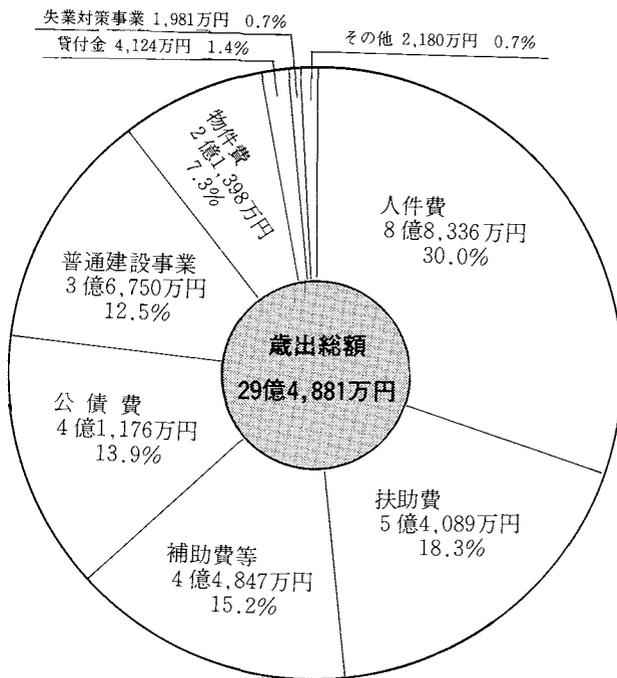
10億8,050万円

1人当り 27,170円

1世帯当り 88,501円

一般会計性質別状況

昭和57年度
上半期



市有財産の状況

昭和57年9月30日現在

種別	面積など	金額
宅地	448,503㎡	9億4,804万円
山林	2,839,166㎡	4,291万円
田畑	99,836㎡	124万円
雑種地	13,079㎡	1,134万円
建物	142,338㎡	58億4,522万円
立木	56,318㎡	3億6,496万円

公債費の状況

昭和57年9月30日現在

区分	借入先	件数	現債高
一般会計	大蔵省	124	35億3,965万円
	郵政省	51	11億3,553万円
	その他	84	17億7,128万円
	小計	259	64億4,646万円
特別会計	大蔵省	7	1億1,298万円
	郵政省	22	3億2,913万円
	小計	29	4億4,211万円
合計		288	68億8,857万円
1人当りの額			173,215円
1世帯当りの額			564,221円

財政調整基金	7億5,225万円
大洲市国民健康保険財政調整基金	2,884万円
土地開発基金	1億7,032万円
その他特定目的基金	3,692万円
出資金	2,412万円
計	10億1,245万円

事業会計の状況

昭和57年度上半期

事業会計名	総収益	総費用	当期純利益
工業用水道	301万円	159万円	142万円
水道事業	1億4,318万円	1億1,307万円	3,011万円
国民宿舎	5,211万円	4,485万円	726万円
病院	5億4,166万円	4億8,490万円	5,676万円

住宅新築資金等貸付事業



予算現額 1億5,104万円
収入済額 1,865万円
支出済額 6,903万円
差引 △ 5,038万円

土地取得造成



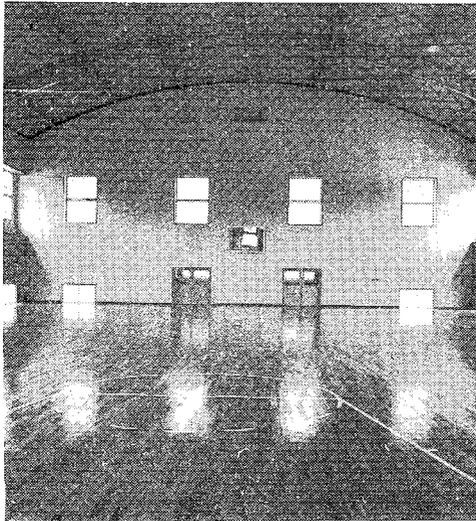
予算現額 814万円
収入済額 77万円
支出済額 0万円
差引 77万円

交通障害保険

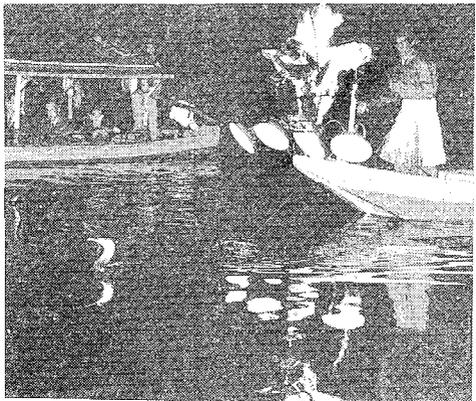


予算現額 675万円
収入済額 700万円
支出済額 643万円
差引 57万円

昭和57年大洲市の出来事

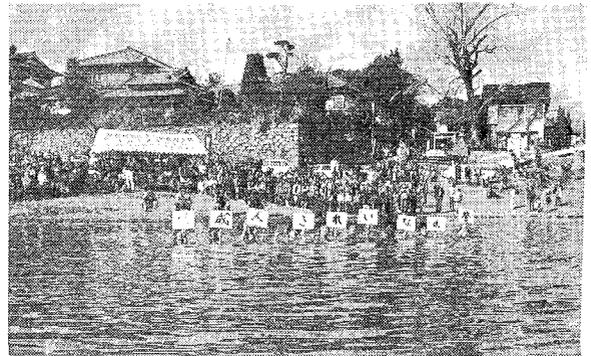


大洲勤労者体育センター完成(4・1)
運動公園内に、大洲勤労者体育センターが完成し、4月1日より供用を開始しました。建物は鉄筋コンクリート造平屋建、978.6平方メートル、総工費1億1,500万円です。



うかい、天候不順に泣く(6・1~9・15)
大洲名物の「うかい」は、今年も6月から9月まで行われましたが、天候不順にたたられて、一昨年を下回る成績でした。

成人を祝い寒中水泳(1・15)
成人の日に肱川橋上流で、寒中水泳大会が行われました。三歳から六十一歳までの九十一人が初泳ぎをして成人式を祝いました。



徳森児童センター開館(4・30)
児童の健全育成を願い、徳森地区に児童センターが設置されました。センターは、鉄筋コンクリート造二階建、四百四十八平方メートル、総工費六千万円です。

四国市長会大洲市で開催(5・12)
五月十二日、市民会館において第七十二回市長会議が開かれました。四国四県三十市の市長と関係者百人が集まり、地方都市のかかえる問題について討議しました。



4月	25 つつじまつり (~5・15)	3月	8 広域農道・荒間地トンネル(蔵川~梅川)開通	1月	5 新谷スポーツ少年団、県少年サッカー大会で優勝
	27 臨時市議会(第170回)		20 新谷小屋内運動場が完成		15 成人式、寒中水泳大会
5月	30 徳森児童センター完成	4月	26 臨時市議会(第169回)	2月	21 市庁舎整備委員会最終答申
	8 新就職者激励大会		27 桜まつり(~4・25)		25 八多喜祇園まつり
	8 母の日のつどい		27 平野幼稚園改築が完成		1月
12 四国市長会大洲市で開催	28 平小学校増改築が完成	10 臨時市議会(第167回)			
6月	1 うかい開幕(~9・15)	4月	30 大洲東中学校改築が完成	3月	26 コミュニティ推進大会
	1~しょうぶ・ほたるまつり		1月		7 消防出初め式
	14 清流園に3次処理施設完成				8 3月定例市議会(第168回~19日)
6月	18 肱川をきれいにする協議会	4月	1 大洲勤労者体育センター(運動公園)供用開始	3月	
	21 6月定例市議会(第171回~30日)		17 第1回大洲市庁舎建設委員会開く		

大洲・喜多シンポジウム

肱川流域圏の自立をめざして



三好京三氏の記念講演

大洲市を考える百人委員会の一環として、大洲市、喜多郡町村などの共催で「大洲・喜多シンポジウム82」が十一月七日、大洲農協で開かれました。「農・工・観光をつなぐ」と「温かな風土と人づくり」の二つの分科会にわかれて三時間半あまりにわたり熱心な討議が行われました。続いて、直木賞作家の三好京三氏が記念講演を行いました。ふるさとに生きる心を語りました。

農・工・観光業をつなぐ

この分科会には約二百名が出席し、宍戸邦彦・松山商大経済学部助教の司会で、農・工・観光のあり方やこれからの方向付について熱心な話し合いが行われました。要旨は次のとおりです。

農業の展望

大洲・喜多地方の基幹産業は農業なのですが、現状は低落傾向にあり、農業の活性化は重要な課題となってきました。活性化の道は、自立した農業、汗よりも知恵

を出す農業を旨とする以外に方法はないのではなからうか。

具体的には、農産品をそのまま市場に送り出すのではなく、農産品の付加価値を高めて市場での競争力を持つことが必要です。現に畜産分野では、加工工場などを備えて加工をした形で市場へ送り出しています。また、国営パイロット事業を中心とした地域の複合化規模の拡大、技術革新なども当然必要となってきました。

観光のこれから

大洲・喜多には、我々が見落とし

がちな自然と調和した個性的な観光資源が豊富にあります。が、豊かな人情がわざわいして、観光客を受け入れる体制の整備が遅れています。通過観光でなく、大洲・喜多の良さを知ってもらおう観光への道の模索が必要です。それには、狭い視野でなく広域的観光構想の開発が望まれます。

温かな風土と人づくり

百三十人が参加し、大洲・喜多の風土・気質などについて活発な討論が行われました。

剛強な気質が本来の姿

現在の大洲人は、温和といわれていますが、江戸、明治中期までは「剛強」といわれていました。しかし、明治中期以降の養蚕、製糸の繁栄により経済的安定が図られ徐々にその気質が失われていきました。

混迷の時代といわれる現代、大洲人の中にある剛強の気質、また過去の歴史でも示すような進取の気質を確認し、次代を引き継ぐ必要があるのではないのでしょうか。

分科会の討議終了後、直木賞作家・三好京三氏の「ふるさとに生きる」と題した記念講演が行われました。

「このふるさとも悪い面と良い面がある。悪い面から目をそらす、良い面を重点的に伸ばすことが大切です。」と語りました。

愛媛県知事選挙 明るい政治につながるこの一票

1月15日に投票

政治の主役は私たちです。みんなで見ると、きれいな選挙をいたしましょう。

一月十五日(土)は、愛媛県知事選挙の投票日です。私たちの代表を選ぶ大切な選挙です。悔いのない一票を投じたいものです。

投票日 一月十五日(成人の日)

午前七時～午後六時

不在者投票

投票日に、仕事などの「やむを得ない事情」で投票所に行けない人のために、不在者投票制度が設けられています。

償却資産の申告

1月14日までに

今年も償却資産の申告時期になりました。

償却資産とは……

土地および家屋以外の事業用資産をいいます。具体的には、構築物、機械・装置、船舶、車輛・運搬具、工具・備品などです。これらの資産で、その減価償却額(費)が法人税法または所得税法の所得計算上、損金または必要経費に算入されているものです。

申告の必要のないもの

●耐用年数が一年未満のもの

期間 十二月二十一日～一月十四日

場所 市民会館大ホールロビー

投票できる人

年齢 昭和三十八年一月十六日以前に生まれた人

住所 昭和五十七年九月十九日以前の転入届出者

贈らない 求めない 受け取らないの三ない運動できれいな選挙を。

大洲市明るい選挙推進協議会

大洲市選挙管理委員会

☎④2111内線269

- 取得価額が十万円未満のもの(ただし小額多量資産はのぞく)
- 鉱業権、特許権、営業権、商業権などの無形減価償却資産
- 自動車税および軽自動車税の課税対象となる車輛などです。

償却資産申告書

▽対象となる資産を、昭和五十八年一月一日現在所有されている個人または法人は、申告書に必要事項を記載して市税務課に提出してください。

提出期限 一月十四日(金)

その他詳しくは、市税務課固定資産係へ。

☎④2111内線215

自分の健康は自分で守る 第一回大洲市健康づくり推進大会



市民の健康づくりを推進しようと十一月二十七日、市民会館大ホールにおいて、五百人が参加して「第一回大洲市健康づくり推進大会」が開かれました。

近年、市民の健康は平均寿命の伸長にみられるように著しく改善されましたが、年齢構成の老齢化が進み、不適切な栄養摂取、運動不足などによる各種成人病の増加が問題となってきました。

これらの問題に対処するため、自分の健康は自分で守る、という

う認識のもとに、市民の健康を願って開かれました。

大会は、午前十時から始まり、「私たちの健康づくり」について、亀田ツヤ子さん(大洲)、菊地税子さん(平野)、矢野禎子さん(大川)の三人は、自分たちの体験を通じての事例発表が行われました。

午後からは、愛媛大学教授・渡辺孟氏の「新しい健康づくり」と題した特別講演が行われ、聴衆の共感を呼んでいました。

栄養と運動と休養のバランスのとれた日常生活を実践し、「自分の健康は自分で守る」ということの大切さを確認しました。

同和教育 シリーズ No. 52 8 人権と解放運動(下)

みんなのしあわせを願って

戦後、基本的人権を柱とした日本国憲法にもとづき、民主的改革が行われましたが、差別はいぜんとして存続し未解決のままで取り残されています。

戦後、基本的人権を柱とした日本国憲法にもとづき、民主的改革が行われましたが、差別はいぜんとして存続し未解決のままで取り残されています。

部族解放運動は、戦前の水平社運動の伝統の上に立って部族差別についての認識を深め、従来、水平社が行ってきた差別糾弾闘争から、同和地区の低位な実態は行政の責任にあるとして、政府および地方公共団体に対し、部族解放の行政施策を要求する大衆闘争を全

「同和問題は、人類普遍の原理である自由と平等に関する問題で、憲法で保障された基本的人権にかかわる課題であり、その早急な解決こそ国の責務であり国民的課題である。」と、答申しました。

この答申を受けて、昭和四十四年、同和地区の社会的・経済的地

位的向上を不当にはばむ諸要因を解決するための同和対策事業特別措置法という法律がつくられました。

これによると、部落解放への責務は国および地方公共団体にあるとしています。

こうした中で、愛媛県においては、部落解放し、真の自由と平等を念願して大同団結した愛媛県同和対策協議会が昭和三十六年に結成され、運動を展開しています。

部落の歴史とともに解放運動に取り組まれ、特に大正から昭和にかけての水平社運動に身をささげられた幾多の人々の貴重な教訓が現在の運動を支えていることを忘れてはなりません。

保育所園児を募集 1月6日から受付



国の定める徴収金額を基準として保育料を定めます。保育料は、その児童と同一世帯で生計を一にしている扶養義務者のすべてについて、その所得税額、市民税額、固定資産税額の課税状況および児童の年齢によって異なりますので詳しくは福祉事務所に

昭和五十八年四月から、保育所に入所を希望されるみなさんに対して、次の要領で受付をいたします。

お尋ねください。申請に必要なもの
▼申請書
▼給与所得者(世帯員すべての給与所得者)は、昭和57年分給与所得の源泉徴収票

- 入所できる児童 次のような理由で、家庭で児童の保育ができない場合。
▼母親が就労している
▼母親のいない家庭
▼母親が出産前後や病気で
▼母親が病人の看護にあたっている

入所申請書の配布・受付
保育所または市福祉事務所で行っています。
▼昭和五十七年一月二日以降大洲市に転入された人は、前住所地における昭和五十七年度市町村民税額および固定資産税額の課税証明書
▼受付期間 一月六日(月)～一月十五日(土)
詳しくは、市福祉事務所施設係にお問い合わせください。
☎2111-1内線261

1月15日に 成人式

第三十五回成人式を一月十五日に次のとおり行いますので、成人となられたみなさんは、参加してください。

日時 一月十五日午前九時
場所 市民会館大ホール
対象者 昭和三十七年一月一日～昭和三十七年十二月三十一日まで生まれた人。
成人式は人生第二のスタートの式典です。式当日は、華美な服装にならないようにしてください。

市民の元場



初もうで

明るく豊かな 地域社会づくりを 社会福祉大会 障害者福祉大会

大洲市社会福祉 年度大洲市障害者福



訪 奥さん

五衛門風呂には驚きました

菅田・道屋敷 富永裕代(32歳)

▼兵庫県尼崎市の出身です。甲子園球場のそばです。育ったのは、大阪です。
▼主人(武志さん)とは、大阪の同じ職場で知りあい、昭和四十六年に大洲で結婚しました。
▼子供は男ばかり三人です。長男は薫(七歳・小二)、次男は優(四

歳)、三男は祥(二歳)です。
▼生まれ育ったのが都会でしたので、田舎の生活にあこがれていました。任んでみて、食べ物もおいしいですし、人が親切で住みよいところだと思えます。
▼最初驚いたのは、霧の深いことと五右衛門風呂です。最初、げた

をはいて入るのかと思い、みんなに笑われました。
▼仕事の関係で、市内各地をまわっていますが、四季それぞれ風情があり楽しいですね。
▼最初は、大阪弁が出たのですがもう大洲の言葉にもなれました。
▼主人は、やさしいですし、子供も可愛がってくれますので、何も言うことありません。
▼子供たちは、大洲で生活してほ

人とのつながりの輪の中から、心の通い合う明るい福祉の町づくりを推進しようと、十一月二十五日、社会教育センターにおいて、第六回大洲市社会福祉大会・昭和五十七年度大洲市障害者福祉大会は約二百人が参加し開かれました。午前九時半から開かれた大会は、家庭奉仕員の今川勝子さんなどの体験発表が行われ、続いて、大玉寺副住職の大西利康氏の講演が行われました。午後からは、福祉功労者の表彰が行われました。終りに大会宣言を決議しました。宣言要旨は次のとおりです。

「完全参加と平等」をテーマとして、国際障害者年年初年の昨年は、大洲市国際障害者年推進協議会を設置し、地域住民をはじめ関係機関団体の積極的な参加により、障害者に対する理解の輪が広がり成果をあげることができました。しかし、障害者が地域において社会活動に参加し、健常者と同じ

生活営むことは、まだまだ厳しいものがあります。この大会を契機として、市民総参加による福祉の心の輪をさらに広げ、明るく豊かな地域社会づくりをめざしてまい進することを宣言する。」
表彰者は次のとおりです。

市福祉協議会長表彰 隅田庄太郎(大洲) 高月桂一(常磐町) 寺岡キヨミ(田処) 矢野良虎(東宇山) 林田トミエ(上須戒) 池田富子(とみす寮) 清水京子(幸楽園) 矢野末光(菅田) 柳沢地区社会福祉協議会 若宮青年団

市身体障害者協議会長表彰 上田定夫(黒木) 大門政春(宇津) 矢野義春(菅田) 岡本雅儀(新谷) 上田惣太郎(上須戒) 大洲手をつなぐ親の会長表彰 二宮武夫(大洲) 谷淵ミヤ子(長浜) 小倉タツミ(柚木) 全国民生児童委員協議会長表彰 東文道(平野)



新刊図書案内

- 梅原猛著作集14 梅原 猛著
- 北藤 録 伊予史談会編
- 日本の聖域8 俊成出版社
- 角川地名大辞典31 角川書店
- スリーマイル島 中尾ハジメ著
- ブレイク時代を終り 大蔵雄之助著
- 成熟社会の流行現象 電 通
- バナナと日本人 鶴見良行著
- シンデレラコンプレックス C・ダウリング著
- もっと生きたい 岡田真美著
- 気くばりのすすめ 鈴木健二著
- ロボットの話 松崎吉信著
- 米をどうする 河北新報社編
- 昭和後期農業問題論集12農文協
- 白川義員山岳写真全集4小学館
- ことばの文化史 杉本つとむ著
- 日本文学辞典 平凡社編
- 風の旅 星野富弘著
- 憶えきれないせりふ芥川比呂志
- 家の中 中里恒子著
- 人間の宿舎・他 黒岩重吾著
- 装いせよ、わが魂よ 高橋たか子著
- 午後の微笑 曾根綾子著
- 一瞬の夏上・下 沢木耕太郎著
- 菜の花の沖五・六司馬遼太郎著
- 人生まだ昼下り 土岐雄三著
- 萩窪風土記 井伏鱒二著
- 北 針 大野 芳著
- オギー・マーチの冒険上・下 S・ペロウ著

図書館

▼大洲藤樹会、発足10周年

11月23日、中央公民館で「大洲市藤樹会」10周年記念行事が100人あまりが出席して行われました。大洲ゆかりの哲人・中江藤樹の教えを現代に生かそうと、市内の小・中学生による弁論大会や日本藤樹学会代表の木村光徳氏の講演が行われました。



▼田中澄江さん 他者への愛を説く

11月8日、市民会館大ホールで田中澄江さんを迎えて文化講演会が開かれました。五百人あまりの聴衆を前にして、動物的な自己愛でなく、人間的な他者愛の大切さを説き、共感を得ていました。



▲めい福を祈り合同追悼式

11月18日、市民会館大ホールで1,000人が参加し、第26回大洲市合同追悼式が行われました。戦没者や消防および公務殉職者約1,050人のめい福を祈りました。



▲274人が参加、新谷中Aが優勝 第22回大洲市駅伝大会

11月27日、31チーム 274人が参加して第22回大洲市駅伝大会が行われました。午後1時30分農校前をスタートし33.6kmで日頃の健脚を競いました。優勝チームは次のとおりです。▶中学 新谷中▶高校一部 帝京第五A▶同二部 大洲高サッカー部▶女子 大洲農校▶一般 大洲体協

無事故で年末 笑顔で年始

死亡事故多発にブレーキを 昭和五十七年は、愛媛県下の交通事故による死者が百人を突破して、最悪の状態で終りました。

年末年始は、飲酒する機会が多くなるほか、交通渋滞がひんぱんに起きるようになり、気ぜわしさにイライラも加わり、交通事故の多発が予想されます。市民の一人ひとりが、正しい交通ルールの実践に努め、無事故で年末を笑顔で新しい年を迎えるようにしましょう。

十一月十一日から一月十日まで「年末年始の交通安全県民運動」が繰り広げられます。今年の重点目標は次のとおりです。

- 1、飲酒・暴走・過労運転の追放
- 2、老人と子供の安全確保
- 3、交差点3S運動の推進

11月末日までの 大洲市内の交通事故

	11月末日現在	去年同期
件数	107	158
負傷者	135	192
死者	2	2

保健センターだより

☎43775

乳幼児
健診



和55年12月31日までに生まれた人で初回(1期)、追加(2期)の接種がすんでいない人。
料 金 無料
持参品 母子健康手帳、印かん

初めて妊娠されたお母さんを対象に実施していますので、対象のかたはご参加ください。

学 母 級 親



休日急患診療

1月1日 大洲中央病院
1月2日 ☎44551
1月3日 市立大洲病院
☎42151
1月9日 大洲中央病院
1月15日
1月16日 ☎44551
1月23日
1月30日

まごころの
おくりもの



金一封 菅田町 矢野 広見
金一封(県産品まつり参加売上収益金)八幡浜市 マルサ蒲鉾店
金一封(お祭のさい銭の内)
菅田町 菅田西子供会
温かい善意をありがとございました。感謝をこめて掲載させていただきます。
大洲市社会福祉協議会

三種混合の予防接種

ジフテリア、百日咳、破傷風の三種混合予防接種を次のとおり実施しますので、対象の人は受けてください。

該当者 昭和54年1月1日から昭和55年12月31日までに生まれた人

地区	場所	1回目	2回目	3回目	時間
肱南	保健センター	1月6日	2月3日	3月4日	1:30~2:30
肱北	〃	1月7日	2月4日	3月4日	〃
平野	連絡所	1月18日	2月18日	3月18日	1:20~2:00
南久米	〃	1月14日	2月14日	3月14日	1:00~1:30
菅田	〃	1月12日	2月15日	3月15日	1:30~2:00
大川	〃	1月17日	2月14日	3月14日	1:00~1:30
蔵川	蔵川中学校	1月21日	2月18日	3月18日	1:30~2:00
柳沢	柳沢小講堂	1月12日	2月9日	3月9日	1:00~1:30
新谷	連絡所	1月7日	2月4日	3月4日	1:30~2:00
三善	〃	1月19日	2月18日	3月18日	2:00~3:00
八多喜	農村定住センター	1月14日	2月15日	3月15日	1:00~1:30
上須成	上須成診療所	1月18日	2月18日	3月18日	3:00~3:30

大洲市保健センター

相談ごと案内

いずれも無料ですので、お気軽にご利用ください。

▶交通事故相談

とき 1月10日 10時~15時
1月20日 〃
ところ 市役所第三会議室

▶人権相談

とき 1月20日 13時~16時
ところ 社会福祉協議会事務局

▶心配ごと相談

とき 1月5日 13時~16時
1月10日 〃
1月25日 〃
ところ 社会福祉協議会事務局

▶家庭児童相談

とき 毎日の執務時間中
ところ 大洲市福祉事務所

▶行政相談

とき 1月22日 10時~15時
ところ 中央公民館

急がれる時は電話で相談してください。☎43794 (玉木)

▶社会保険相談

とき 1月20日 10時~16時
ところ 大洲商工会議所
担当 松山社会保険事務所

▶不動産相談

とき 1月15日 9時~16時
ところ 宅地建物取引業協会大洲支部 (常磐町(株)フヂエダ内)

▶何でも相談

とき 毎日の執務時間中
ところ 大洲隣保館 (東大洲☎46100)
大洲福祉会館 (新谷☎50947)
相談内容 住民福祉に関し、生活上の悩み、人権、交通事故その他行政的悩み、苦情など。

休日の漏水修理 (8:30~17:00)

月 日	当番業者	☎
1月1日	城戸電業者	5-2944
1月2日	久保鉄工所	6-0537
1月3日	蔵田水道店	4-5968
1月9日	佐藤水道店	4-4410
1月15日	清水水道商會	4-6232
1月16日	滝田商店	5-0901
1月23日	土居鉄工所	4-4519
1月30日	中野管工工業	4-3792



水道管の
冬じたく

水道管の冬じたくはすましかたか。特に屋外で露出している管は保護が必要です。布やなわなどを巻き、その上からテープを巻いて冬じたくをしてください。

後記

年も改まり、新しい気持ちでスタートしたいものです。日記を書き始めても二日で終ることなく、一冊の日記帳を自分の字で考えで埋めたいものです。
大洲も四万都市が真近です。新しい形の田園都市に脱皮するのはこれからです。(や)